



教育目標 ・すすんで学ぼう ・美しい心を育てよう ・たくましい体をつくろう
 経営理念 自分と人類の幸福を創造する人材の育成

○美しい心

10月の半ば、ある一本の嬉しい電話をいただきました。「富士塚公園前で中学生がうちの子の傷の手当てをしてくれました。その中学生のお名前は分からないのですが、お礼を言いたいと思い、新町中へ連絡しました。有難うございました。」校長は、これを聞いた時、頭が覚醒するほど嬉しかったのを覚えています。本校の教育目標である「美しい心を育てよう」が実った瞬間であると思ったからです。この10月は至る所でその実りが見られました。3年生はコロナの影響を受けることなく、3日間無事に修学旅行に行けましたが、ここでも、バスを降りるときに運転手さんやガイドさんに「有難うございました。」の一言を、しかも全員が言っていました。2日目の京都班行動も見事でした。全班・班員全員が先生に頼ることなく、自分たちの力でミッションを達成しました。規定時刻の17:30に少し遅れた班もありましたが、それでも、事前に学年主任の安原先生に報告済で、大人の対応ができていました。だから、班行動は大成功でした。困難なミッションを達成した3年生は、さすがらしく美しい心が宿っていました。3年生は本当によく頑張りました。振り返れば、小学6年生の日光移動教室以来、コロナ禍で大きな行事を満足にできず、3年間の積み上げが難しかった中での達成感は格別の味わいがあったと思います。これはきっと生涯かけがえのないレガシー（遺産）になることなのでしょう。2年生では3日間の職場体験が行われました。地元の新町中学校区を中心に43事業所でお世話になり、第一・二・三次産業の業種にそれぞれ生徒を派遣することができました。2年生はこれに先立ち、ハローワーク（公共職業安定所）の方をお招きし、挨拶の意義と仕方を学びこれが功を奏していました。校長や2学年の先生方も挨拶回りや2年生の様子を見届けるために事業所へ赴いたのですが、生徒は緊張の中にあっても、あいさつや笑顔、真剣さを心がけていました。そして一生懸命に事業所の方々から働き方や生き方を学ぼうとしている姿があり、頑張っていました。その心は美しく、見違えるほどに大きくなっていました。校長がある職場体験先で生徒に声を掛けたら「最初はお客さんに質問されても上手く答えられませんでした、3日目から案内ができるようになった。働くことに楽しさを覚えてきました。」と返ってきました。修学旅行と職場体験は一見違うように見えますが、共通している部分があります。それは生徒一人一人に美しい心が大きく育ったこと、すなわち、使命感をもったり、周りの人たちを気遣い励まし合ったり、共に喜びや幸せをつくったりすることに価値を見出してきた生徒がいたことです。そして何よりも、「あいさつ」の必要性、あいさつをすることで、心を開く境地を悟ったことにあると思います。修学旅行ではこんな逸話もありました。「真夜中に具合の悪い生徒と寝ている生徒を気遣い、フロントに電話をして助けを求めた。」「班行動を終え宿舎に戻ってきた後、体調不良を訴え急速に悪化した生徒を気遣い、励ましに心にしみる言葉を言いに来てくれたお友達」など、美しい心を燃やした生徒は、枚挙にいとまがありませんでした。校長は毎朝あいさつを生徒の皆さんにしていますが、最近変化を感じています。これまでできていなかったある生徒が、ほんの少し頭を下げくれたり、小さい声でわずかに言ったりしてくれる時がありました。これも感動ものです。あいさつは美しい心を創る第一歩だと思っています。



新町中学校に彩りを添えるキンモクセイ

○11月の学校ポイント

(1) 3年生は第2回（進路）三者面談が続いています

教育実習が再び始まりました

伊藤【国語】教育実習生が、1年C組付きで学んでいます。10/17
 ～11/4までよろしく願います。

10/28に行われた進路説明会へのご出席有難うございました。令和5年度入学選抜の実施要綱等が定まった今、3年生はいよいよ進路選択の大詰めを迎えようとしています。迷いや不安が大きくなることもあろうかと思いますが、大切なことは、自分の将来の生き方や夢、就いてみたい職業や興味のあること等について、本当にしたいのは何なのかを追求することです。中学校段階で決定することは難しいことですが、でも考えることが必要です。そして、まだ明確なイメージができなくても、ある程度の方向性が出てきたらしめたものです。その実現を少しでも近づけるための進路選択であってほしいと願っています。なお、3年生の進路選択の最終確認は12月の三者面談となっていきます。

(2) 11/16(水)・17(木)・18(金)は期末考査です

早いもので、後2週間ほどで来てしまいます。この2学期は1学期よりも、授業に打ちこむ生徒が増えてきました。その成果が実りの秋のように、形に現れると嬉しいものです。すでに対策学習を計画的に進めていますが、その中で、10月から1・2年・5教科(国・社・数・理・英)を中心に始まった「ノートまとめ」をしっかり活用してください。もう1度見直したり解き直したりしてから、理解したことや解き方をお友達や保護者に伝えられるようにしていきましょう。本当に分かったと言えるのは、相手が分かるまで説明できるようになってからです。3年生は11/27(日)に東京都中学校英語スピーキングテストもあります。都立入試(1次・分割前期募集)で加点されますので、こちらも頑張ってください。

(3) パラリンピックアスリートとの体験学習・講演会等があります 11/25(金)

「子供を笑顔にするプロジェクト」と称して、日本の車いすラグビー選手 池崎大輔様を招へいします。最近では、東京パラリンピック2020(実施年は令和3年)に出場し銅メダルを獲得するなど活躍しています。様々な困難を克服してきた同選手から、多くの学ぶべき点があるものと拝察します。保護者の方のご参観も可能にする予定です。(改めてご案内申し上げます。)

○10月の学校の様子



初日小作駅で出発チェック 5:30



奈良(東大寺)の大仏



平等院



伏見稲荷大社



3年 修学旅行 10/9~10/11



部屋会議



班長・室長会議



舞子演舞



金閣寺(鹿苑寺)



セブン・イレブン青梅インター店



五十鈴中央 青梅サービスセンター

2年 職場体験 10/11~10/13



セーラー
万年筆
ロボット機
器事業部



ノジマ青梅インター店



アベイル青梅店



東京都農林総合研究センター



生徒会朝礼 10/18 本部役員の決意表明



生徒会長から一人一人の
意見が通る生徒会づくりを
表明されました。



太陽誘電モバイルテクノロジー



生徒会朝礼 10/18 専門委員会委員長の
決意表明

後期生徒会・専門委員会始動



生活委員会



2年 学級委員会



生徒会主催ボランティア活動
10/17~19
富士塚公園、桜株公園、新町中周辺で
ごみ拾いを行いました。まるで街が喜
んでいるようでした。ここでも美しい心
をもった生徒が実っていました。



本部役員が、ボランティアに参加してく
れた生徒にあいさつと説明をしている
様子



道徳授業地区公開講座 10/22

テーマ:いじめの防止(いじめと向き合う)

保護者との意見交換会

これも「いじめ」?

講演会

Q 中学1年のAさんが、同じクラスのBさんとCさんから悪口を言われたと担任の先生に相談しました。担任の先生がBさん、Cさんから事情を聞いたところ、二人から、先に悪口を言ったのはAさんで、自分たちはそれに対抗しただけだという回答がありました。先に悪口を言ったのはAさんですが、BさんとCさんの行為は、Aさんに対する「いじめ」に当たるとはでしょうか?

演題「これもいじめ? ~皆が楽しく学校生活を送るために~」



青梅市教育委員会
教育法務担当・弁護士
中澤 さゆり 様



生徒の感想等:生徒はリモートで講演会を聞きました。

- 自分が傷つけるつもりはなくても相手が傷ついてしまったらということを考え、相手にかける言葉をもう一度考える。
- よくあることを例にされて参考になった。多分、加害者も被害者もいじめという認識がないのかもしれない。私も言葉を強くいってしまうことがあるが、それを、気を付けたいと思った。 ・同じ人類の中で争うのはやめた方がいいと思う。
- 例え、相手から始めたとしても、言い返したりするのがいじめになると知ってびっくりした。講演会を聞く前までは、相手が言ったら、それに対抗することを言って良いと思っていたからです。今回のことを頭に入れていじめのない学校をつかっていきたい。
- そもそも最初からいじめをおかさないようにするには、普段の行いや自分の性格を見直すことが大切だと思いました。
- 少しのトラブルでも法律的にはいじめになることを頭に入れて学校生活をしたいと思った。仕返しをしても、一対一でも「いじめ」になるというのは小学校では言われていなかったので正直驚いた。相手を傷つける行為は、相手が普通に生活できなくなったり、精神病を抱えてしまったりするかもしれないから、自分は絶対にしないし、誰かがいじめをしていたら止めようと思った。
- 自分では「別にいいや」と思っているけど、相手にとったら嫌なことなら、法律に定められているいじめであることを今日は知った。もしかして、自分も相手に嫌なことをしているかもしれないから、自分も考えるようにしてみたら、いじめは減ると思います。
- 今回の講演でいじめの定義は広く、見過ごしにくいようにしていることや、学校や家にも気軽に相談できることが分かり、安心して学校生活を送れるなと感じた。 ・ラインのグループ外しはいじめだと初めて知った。
- 私が何気なくしている行動から「いじめ」につながるかもしれないと考えた時とても怖いと感じました。

1年

- 私は今回のことを通して、自分が気付かない内にいじめをしてしまっている可能性があるかもしれないと思いました。相手がやったらやり直すのではなく、直接いったり先生に相談したりするというのがいじめをなくするために大切なことだと実感しました。
- 人権とは何か、どれだけ大事か、を改めて分かりました。人はそれぞれ人権を持っているから、自分に自信をもって、平等に接してあげることができれば、もっといじめがなくなるのではないかと思います。
- 違いを認め合い、悪口を言わない。
- いじめは人を殺せる怖いものと改めて分かりました。いじめられている人を見つけたら、見て見ぬふりをするのじゃなくて止められる人間になる。
- 安心して学校生活を過ごすのは結構難しいと思うが、皆で協力して気かければ、安心してみんな学校生活を送れることが分かった。
- やり直すのもいじめだったとは知らなかった。今回学んだことをこれからの学校生活に生かして生きたい。
- 新町中のスローガンを生かして、生活していきたいと思った。いじめは絶対にしたくないと思った。(いじめは犯罪)
- 今回の講演会や1つ前の道徳の授業で、いじめをされている側の気持ちが少し分かったと思います。無意識にいじめをしているかもしれないので、今回学んだことを生かし改め、気を付けて皆と仲良くしたいです。今回は講演会をしてくださり有難うございました。
- 今日の道徳のことを踏まえて空気や周りの人に流されずに、友達のことを大切にしたい。
- いじめをなくすためには、人や空気に流されない強い心をもつこと、他人の汚点を探するような汚い心でなく、きれいな心でいることが大切だと思った。
- 講演会を聞いて納得いかない部分もありました。部活のグループの話で悪口とか変なサイトの URL を貼って迷惑をかけていたから別のグループを作ったのに、仲間はずれだとか言い出してむかつきます。それでもいじめになるのはおかしいと思います。法律も大事だけど、人の気持ちの方が大事な時もあると思います。
- (講演会の) 例で、言われたら悪口を言い返すのではなく、「やめて」といえるようになりたいです。感じ方はひとそれぞれ違うので、自分の中で一番優しい言い方をしたいと思います。

2年

- ・今日、教えてもらった事で、いじめの考え方が変わりました。正直軽く考えていました。今日、分かったことが多かったです。
- ・いじめとおふざけの境界線が私の中であいまいだったから、いじめの定義やいじめは犯罪というのを知れてよかった。今回の講演会を機に、いじめや、いじめに近いおふざけが減って最終的に無くなると良いと思った。
- ・人権というものを理解しながら、新町中のスローガンを中心に自分もいじめをしないし、させないようにする。
- ・本人が苦痛と感じていないのなら、どれだけいじめられているように見えても、いじめられたことに入らないってことかな？法律もすごくあいまいな感じだと思った。
- ・お話してもらったけど、あんまりよく分からなかった。話をしただけじゃあれだから、いじめの事は色々経験して学ぼうと思った。
- ・やっぱり先にいじめられた側が悪口を言っても、その後複数人がいじめられた人に悪口を言ったら、いじめになるんだなと思うと少し怖いです。これからトラブルもあると思いますが、今日のことを意識して解決していこうと思います。
- ・私は今日の話を聞いて、いじめはしたらいけないと思いました。でも相手が嫌な思いをしたら「いじめ」ってなると、ほぼみんないじめを受けているのかなと思いました。けんかでもいじめになるのかなと思いました。
- ・「一度の悪口は、津波のように最初小さかったものが、どんどん大きくなりいずれは自分を飲み込んでしまう」という恐ろしい言葉が脳裏に浮かびました。
- ・もし自分がいじめの状況を見たり、はぶかれていた場面を見たりしたら、まず1人になっている子に声をかけて、簡単には心を開いてくれいけれど先生や保護者、専門の方に相談するのを進めようと思いました。いじめを起こさないよう、これから心がけ周りを、見ながら過ごそうと思いました。
- ・私にとって意外だったのは、「相手が嫌と感じたらいじめになる」ということです。私は最初、いじめはもっと重いものだけかと思っていましたが、今回、何気ないやりとり、正当な理由があってもいじめになることを知ることができました。
- ・先に相手が悪口を言っていたとしても、悪口を言ってしまったら、いじめになると知って驚きました。また、自分や周りとう違う人を避けるのはよくないと知ったので、これからは普通の人と同じように接していきたいと思いました。最初からはぶるのではなく、話し合ってから次の行動を考えていきたいです。
- ・これからはいじめになる、ならないに関係なく、日頃から謝れる心を持って、反抗するのではなく、話し合いで何事も解決していきたいと思いました。国や都、市などいろいろないじめに対しての法、条例などがつくって、いじめはそれだけ重大なことだということのを改めて再認識しました。
- ・私は、いじめとはもう知っていると思っていましたが、法律上のことを知ってみると、全然いじめについて知らないと気がきました。これからも学んだことを生かし、いじめは絶対にしてはいけないと心に誓えました。
- ・相手を受け入れる方法は、その人を好きになるのではなく、相手を尊敬することが大事だと分かった。そして相手がたとえ嫌いでも相手のいい所を見つける。私が家族をつくって子供ができて、いじめを受けていたら、まずは冷静になってどうやって対処するかを考える。
- ・いじめとは、いじりが危険であり、それが深刻化したものがいじめになったものだと感じた。いじめはされる側が悪いのではなく、した側が悪く、された側は心に深い傷が残ることが分かった。いじめは広く定義されていて、不法行為は民法709条にあたっているため、損害賠償責任を自分や親が負うことになることを学んだ。

2年:続き

3年

○部活動、がんばっています

女子バレーボール部
10/2 あきる野西中との一戦)



公式 試合等の結果
10/1～10/23※氏名は敬称略

部活動名	大会名	団体/個人	大会日	対戦校	勝敗結果
女子ソフトテニス	令和4年度第八ブロックソフトテニス新人大会	団体	10月2日		
男子ソフトテニス	令和4年度第八ブロックソフトテニス新人大会	団体	10月1日		
女子バスケットボール	東京都第8ブロック秋季新人戦大会	団体	10月9日	青梅西	負
男子バスケットボール	東京都第8ブロック秋季新人戦大会	団体	10月9日	霞台中	負
女子バレー	第8ブロック新人大会(兼都新人大会予選)	団体	10月2日	あきる野西	負
		団体	10月2日	福生一中	負
男子バレー	第8ブロック新人大会	団体	10月23日	羽村一中	負
		団体	10月23日	増戸中	負
野球	地区大会	団体	10月15日	福生二中	負
		団体	10月23日	大久野中	勝
陸上	第75回東京都中学校支部対抗陸上競技大会(都大会)		10月15日		
			10月16日		
サッカー	第8ブロック新人戦大会	団体	10月9日	菅生中	負
吹奏楽	第28回日本管楽合奏コンテスト予選審査会	団体	10月1日		
剣道	第8ブロック中学校秋季剣道大会	団体	10月16日	羽村一中	勝

○その他、入賞報告～おめでとうございます～

令和4年度JA西東京小・中学生書道コンクールで入賞した生徒を紹介します。(敬称略)

- 1 半紙の部 金賞：3C〇〇〇〇、2A〇〇〇〇 銀賞：1C〇〇〇〇
銅賞：3E〇〇〇〇、2B〇〇〇〇
- 2 条幅の部 金賞：3C〇〇〇〇、1C〇〇〇〇 銀賞：2B〇〇〇〇 佳作：3E〇〇〇〇

11・12月初旬の予定★給食あり、ST：ステップアップクラス(放課後数学補充教室)

月	火	水	木	金	土・日
10月31日★	1★	2★	3	4★	5
3年進路三者面談(始)	全校朝礼 (リモト1年)	ST	文化の日	教育実習(終)	PTA主催環境整備ボランティア
7★	8★	9★	10★	11★	12・13
SC来校	生徒会朝礼 (リモト3年) 安全指導 3年進路三者面談(終)	3年復習確認テスト 再登校 16:00 ST	SC来校	避難訓練	
14	15★	16	17	18★	19・20
SC来校	1校時→教科授業	期末考査 (理・社・音) ※給食なし	期末考査 (数・英・美) ※給食なし SC来校	期末考査 (国・技家・保体)	
21★	22★	23	24★	25★	26・27
SC来校	新入生保護者会 (現小6保護者)	勤労感謝の日	ST SC来校	パラアスリート体験・講演授業 (子供を笑顔にするプロジェクト)	
28★	29★	30★	12月1日★	2★	3・4
SC来校	3年5・6カット	ST	全校三者面談(始) ST SC来校	ST	
5	6	7	8	9	10
ST SC来校	ST	ST	全校三者面談(終) ST SC来校		授業公開・本物に学ぶ会
					11

現代的なリズムダンスについての学習と講師の生き方を学びます。保護者の参観も可能です。奮ってご来校ください。改めて後日、ご案内します。

講師等の紹介

キッズダンススタジオ VIGORES 代表 中野むつみ氏。地域(スタジオ)や学校で様々な種類のダンスを指導し、一人一人の個性を生かしながら日々のレッスンを行っています。中学校教員免許もお持ちで、地域の学校で講師としても活躍されています。

※お子様のことでご相談がある場合は、教員の外、スクールカウンセラー(SC)もぜひご利用ください。(アポイント先：副校長、養護教諭：電話 0428-31-0411)

感染状況等により予定は変更になる場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。変更が生じた際は別途ご連絡いたします。